



中京中だより

学校通信 N.O. 6 通巻163号
令和元年10月31日

ラグビーワールドカップから

ラグビーW杯が日本で開催され、日本チームが初めてベスト8に入るなど大躍進の活躍でたいへん盛り上がっています。試合が終われば敵味方関係なく互いの健闘を讃え合うという「ノーサイドの精神」はこれまででも言われてきました。それに加えて今回の大会の中での言葉で印象に残ったものがたくさんありました。

まずは「ワンチーム」。ラグビーの各国・各地域の代表選手になれる資格は他のスポーツとは違う面があり、今回の代表でもカタカナの名前の選手がたくさん日本代表として戦ってくれました。そのさまざまな文化や言語を持つ選手たちの「集団としての結束力」を示す言葉が「ワンチーム」でした。この言葉は選手だけでなくスタッフの皆さん、そして応援している人たちまでをも含めた「一丸となって戦う」精神を表す言葉として度々取りあげられました。中学校でも「体育大会」「文化祭」と大きな行事を終えましたが、その取組の中で、クラスとして学年として「ワンチーム」になっている姿が見られました。これからも「ワンチーム」を大切にして、様々なことにむかっていってほしいと思います。

次に「誇り」と「自己犠牲」。キャプテンのリーチマイケル選手が会見で「代表としての誇り、キャプテンとしての誇りを感じる」と言っていました。日本代表という肩書きに「誇り」を感じて戦ったことがうかがえますし、「誇る」ことができるだけのチームを作り上げてきたという自負も感じる言葉です。またリーチ選手をはじめ多くの選手が「これまで多くのことを犠牲にしてきた」と言っていました。多くのチームスポーツがそうだと思いますが、「密集に突っ込み、そのボールをサポートする選手へと次々とつないでいく」ラグビーはとりわけ「自己犠牲」が必要なのでしょう。中学校でもさまざまな場面で自分の思いを主張するだけでなく、周囲の意見との折り合いをつけなければならぬ場面があります。「犠牲」という言葉を使うと大きさかもしれません、これからの中学校生活の中で、少し考えてもらえばと思います。（2年学年主任 長野）

11月預かり金振替は11日（月）と25日（月）です
1・2年、1年1組 5,000円

12月の予定

- 12月3日(火)代議・専門委員会
- 12月4日(水)花いっぱい活動(雨天時は11日)
- 12月5日(木)後期人権学習(2・3年)
- 12月6日(金)1組合同運動会
- 12月12日(木)後期人権学習(1年)
- 12月17日(火)～23日(月)三者懇談
- 12月24日(火)薬物乱用防止教室
- 12月25日(水)2学期終了
- 12月26日(木)～1月6日(月)冬季休業

※12月27日(金)～1月3日(金)学校閉鎖期間



文化祭テーマ Dream culture ～みんなで奏でるハーモニー～

夢のような文化をみんなで創り上げました。
Great !

舞台発表



生徒会



1年太鼓パフォーマンス



2年劇



3年劇

展示発表



合唱&吹奏楽



吹奏楽部

吹奏楽部

2年学年合唱

3年学年合唱



『インプレッショタイム』



テーマは「文化祭・体育大会を終えて」

『生徒会立会演説会＆選挙』



新しい執行委員が選ばれました！

『ポスターセッション』



3年生が高校の特徴を伝えています

1・2年生は、真剣に聴いていました